学校番号	４０８

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校新版「家庭総合」ともに生きる・持続可能な未来をつくる　（第一学習社）						
副教材等	家庭総合学習ノート（第一学習社）　　家庭科 55 資料集(教育図書)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。

・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。

・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。

・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。

・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域社会の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力・技術と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的･基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述、 調理計画、製作計画、 実習記録表、 レポート、発表、 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記、 調理計画、製作計画、 実習記録表、レポート、 発表、定期考査の結果、 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述、製作品、 観察記録表、 レポート、発表、 定期考査、 実技テストの結果、 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述、 調理計画、製作計画、 実習記録表、 観察記録表、 レポート、発表、 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

1	次世代をはぐくむ	○子どもの発達 ＊命に対する責任について考える ＊妊娠の経過と父親・家族の役割を知る ＊子どもの心身の発達と遊びについて知る ○親の役割 ＊親と子の関係について知る ＊乳幼児の生活について知る ○子育て支援と福祉 ＊現代の子育て環境と、地域社会との関わりを考える	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：子どもの発達・保育・福祉について関心をもち、主体的に学ぼうとする意欲や態度がみられる。 b：子どもに関わる課題や問題について、その原因や対応について考え、まとめることができる。 c：子どもの心身を健全に育む技術を身に付けている。 d：子どもを育てるために必要な知識を身に付け，社会的支援の活用についても理解している。	授業観察 プリント レポート 定期考査
2	食べる	○人の一生と食事 ＊食べることと健康、食文化と食生活の変化について知る ○栄養と食品 ＊各栄養素と食品について知る ○食品の安全のために ＊食生活の安全と衛生、選択と保存について知る ○食生活をデザインする ＊栄養バランス、ライフステージと食事について知る ＊献立を立てる ○調理の基本 ＊調理実習 ○これからの食生活 ＊食生活の課題を知る、自分にできる対策を考える	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：自分の食生活を振り返り学習した内容を食生活に活用しようとする意欲をもって学習に取り組んでいる。 b：環境に配慮した食生活の在り方について考え、課題解決に向けて工夫している。 c：主体的に食生活を営むために必要な調理技術を調理実習を通して身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生等について、科学的に理解し、食生活に必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査 レポート 実習記録

3	経済生活を営む	○私たちの暮らしと経済 ＊経済的自立について考える ＊家計について知る ＊将来のことも考えて、計画的に使うことを考える ○消費者問題を考える ＊消費者問題について知る ＊18 歳から「成人」として契約できることを知り、販売方法・支払い方法・契約トラブルについて考える ○持続可能な社会をめざして ＊消費生活と環境問題について知り、自分にできることを考える	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：事例研究や演習などの配布資料から必要な情報を収集し、整理することができる。 c：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d：現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価